

OPS コントローラ [TP2G]

取扱説明書

N8000-8870

N8000-8871

N8000-8874

N8000-8875



この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。
本装置をご使用になる前に本書を必ずお読みください。



⚠ 使用上のご注意 ～必ずお読みください～

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。
また、安全上の注意は必要時にはすぐに読み返すようにしてください。







安全にかかわる表示について

本装置を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。
本書には本装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。




本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
 注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。






	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中や近くの絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(取扱説明書での表示例)






注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		 注意
 	確実に固定する 本装置をディスプレイなどの OPS スロットを持つ装置に接続するときには、本体装置の取り付け方法に従い、確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。	

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容



注意の喚起

	発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれのあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		高温による傷害を負うおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		




行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。		

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な指示を示します。
---	--	---	-------------------






本書では安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。




	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。
記号の説明については ii ページの「安全にかかわる表示について」を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	本体装置の警告・注意事項に従う 本装置を使用する際は、必ず接続される本体装置の警告および注意事項に従ってください。
	分解・修理・改造はしない 絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。
	煙や異臭、異音がしたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが発生した場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

 注意	
	日本国外で使用しない 本装置は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。この装置を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
	装置内に水や異物を入れない 本装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意

指定以外の場所に設置・使用・保管しない



本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないで下さい。
火災や故障の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 不安定な場所。
- 直射日光が当たる場所

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない



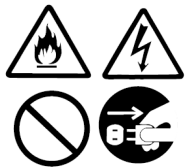
腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空气中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、故障および火災の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

急激な温度変化環境で開梱または使用しない



本装置は、急激な温度変化を受ける環境で開梱または使用しないでください。結露により、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。温度変化があった場合は、馴染み時間(放置時間)を十分にとってから開梱または使用してください。

電源プラグを差し込んだままインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない



インターフェースケーブルなどの取り付け／取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触れると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインターフェースケーブルを接続しない



インターフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する本装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インターフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブル、コネクタを使用しない
- ケーブルを踏まない
- ケーブルの上にものを載せない
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない
- ケーブル、コネクタが汚れたまま使用しない

確実に固定する



本装置をディスプレイなどの OPS スロットを持つ装置に接続するときには、本体装置の取り付け方法に従い、確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

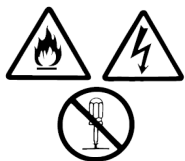
指定の環境条件で使用・保管する



本装置を使用・保管するときは、次に指定する環境条件を必ずお守りください。指定以外の環境条件で使用すると、誤動作や故障の原因となります。

- | | |
|-----|--------------------------|
| 動作時 | 温度 : 5°C~45°C (本装置の周辺温度) |
| | 湿度 : 20%~80% (結露していないこと) |
| 保管時 | 温度 : -20°C~60°C |
| | 湿度 : 20%~80% (結露していないこと) |

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項



分解・修理・改造はしない

絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。また、リチウム電池の寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや、本装置の取り付け／取り外しは、本装置および接続機器の電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



高温注意

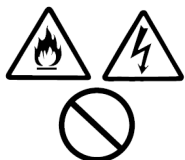
本装置の電源を OFF した直後は、高温になっていることがあります。十分にさめたことを確認してから本装置の取り付け/取り外しを行ってください。

運用中の注意事項



雷がなったら触らない

雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本装置には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本装置内部に入って火災や感電の原因となります。



ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない

ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォン端子に接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。

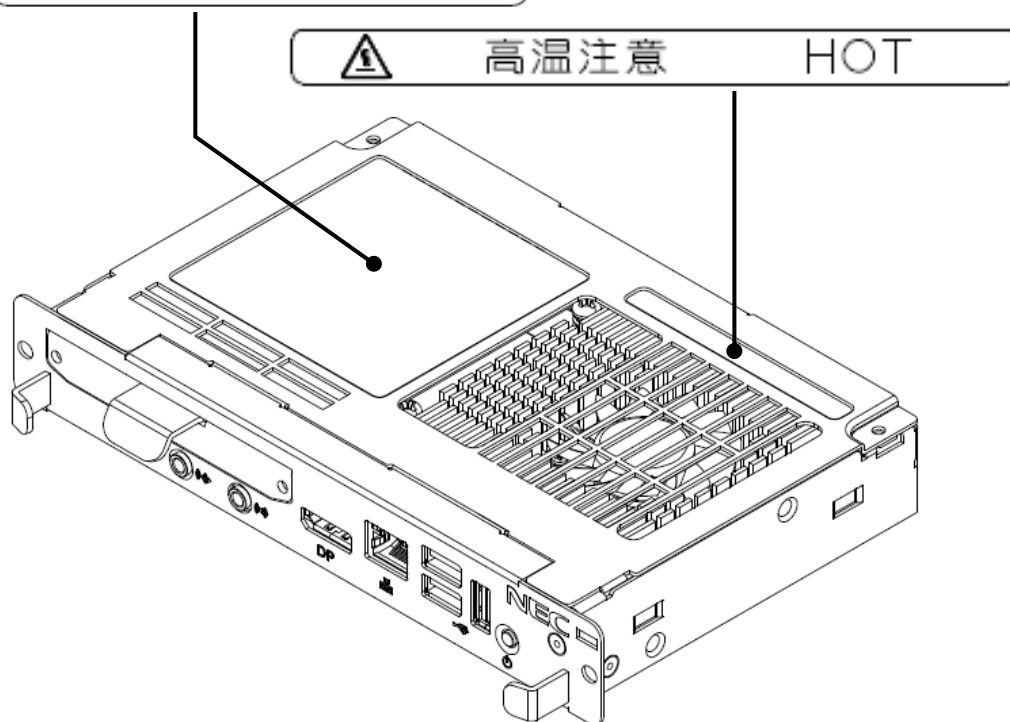


巻き込み注意

本装置の動作中は冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める場所には、警告ラベルが貼り付けてあります。これは、本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしている時は販売店にご連絡ください。



取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると誤動作や故障の原因となります。

- 本装置の取り付け、取り外しや周辺機器へのケーブルの接続、取り外しは本装置およびディスプレイの電源が OFF になっていることを確認し、ディスプレイの電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 本装置の電源を一度 OFF した後、再び ON にするときは 10 秒以上経過してからにしてください。
- 定期的にも本装置を清掃してください。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付けや接続ができて正常に動作しないばかりか、本装置が故障することがあります。
- お客様による本装置の解体および改造を行った場合は、保証の対象外となります。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

－本装置の輸送後

－本装置の保管後

－本装置およびディスプレイの動作を保証する環境条件から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月 1 回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTP サーバ)などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
装置を保管する場合は、保管環境条件(温度: -20°C~60°C、湿度: 20%~80%)を守って保管してください。(ただし、結露しないこと。)
- 本装置のそばでは、携帯電話、PHS、タブレット端末などの電源を OFF にしてください。電波による誤動作の原因となります。

健康のために

コンピュータを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業に比べて次のような症状が起こりやすくなります。

- 眼が疲れる
- 眼が重い
- ものがぼやけて見える
- 疲れやすい
- 首から肩、手の指にかけてしびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じ方は、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

- 1 時間の作業につき 10~15 分の休憩時間をとる。
- 休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる。

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

製品の譲渡と廃棄について

本装置または本装置に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)、廃棄するときは、次の注意を守ってください。

- 本装置を第三者へ譲渡(または売却)するときは、装置に添付されている説明書一式(本書も含む)を一緒にお渡しください。



ハードディスクドライブまたは Solid State Drive 内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブまたは Solid State Drive に保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようにお客様の責任において確実に処分してください。

Windows の「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データ消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- 本装置およびオプション製品の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本装置のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

- ハードディスクドライブ、Solid State Drive、バックアップデータカードリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RW など)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。

付属品の確認

本装置の梱包品の中には、装置本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

航空・海上輸送について

本装置には、リチウム電池(ボタン型)を使用しています。

リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。

本装置を航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

目次



使用上のご注意 ～必ずお読みください～	ii
1. 各部の名称と機能	2
2. 設置	3
3. オペレーティングシステムのセットアップ	4
3.1. プリインストールモデルのセットアップ	5
3.1.1. セットアップの手順	5
3.2. 添付媒体による再セットアップ	9
3.2.1. 再セットアップの流れ	9
3.2.2. 再セットアップの準備	10
3.2.3. Windows 8.1 Pro のインストール	10
3.2.4. Driver のインストール	16
3.2.5. その他の設定	25
3.3. ライセンス認証の手続き	26
3.4. 障害処理のためのセットアップ	27
3.4.1. メモリダンプ(デバッグ情報)の設定	27
4. OS・ソフトウェアに関する注意事項	33
5. 日常の保守	36
6. トラブルシューティング	36
7. 装置仕様一覧	37

はじめに

このたびは、OPS コントローラをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本装置の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について

※本書は、本装置を正しく使用できるようにするための手引きです。日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用下さい。

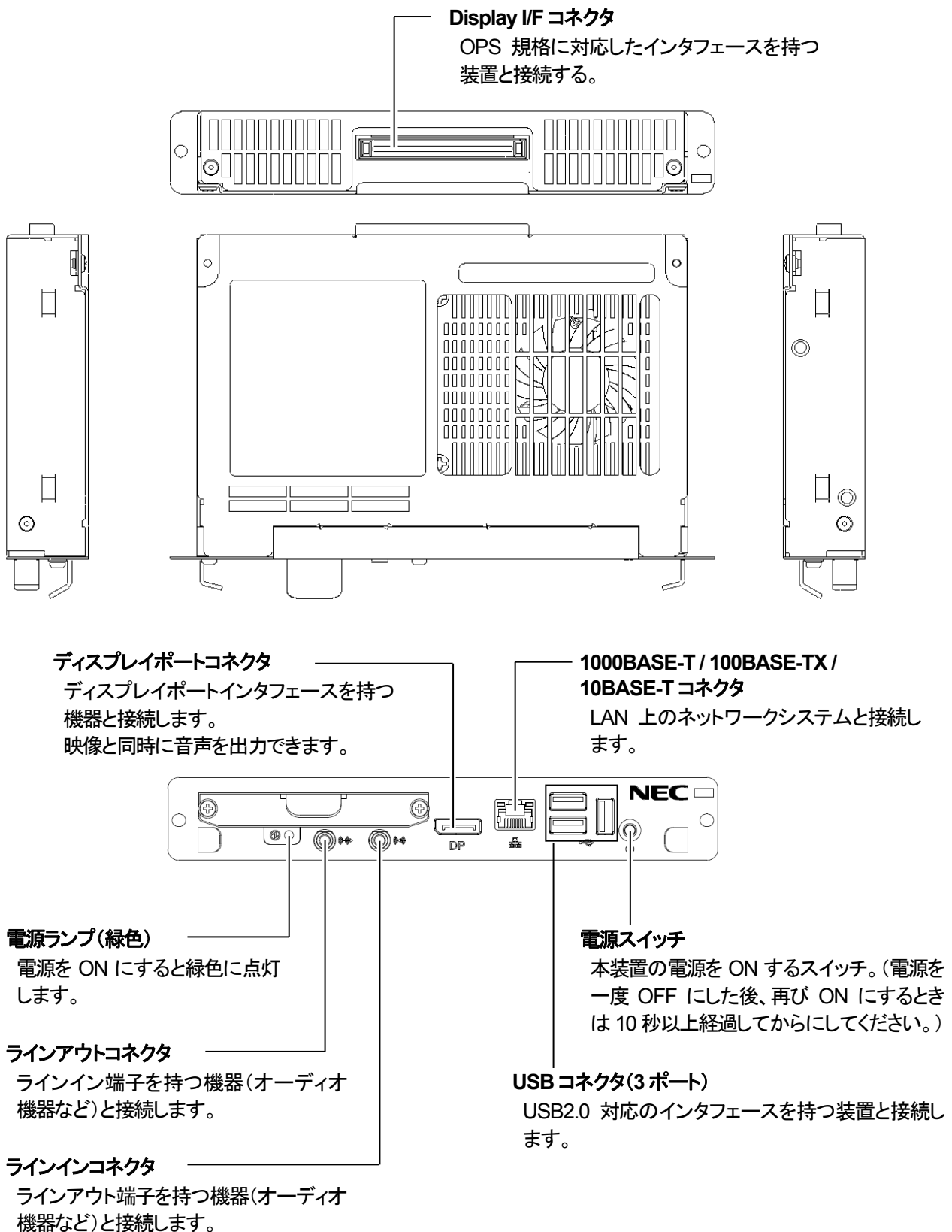
※本書は常に本装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windows などのオペレーティングシステムやキーボードやマウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて、十分な知識を持ったユーザを対象として記載されています。

1. 各部の名称と機能



本装置の各部の名称と機能を次に示します。

装置外観図

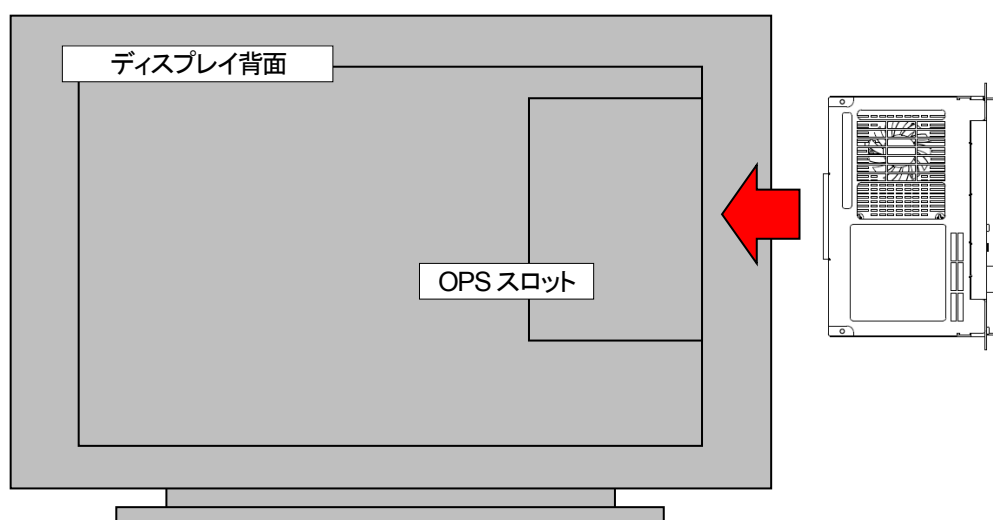


2. 設置

本装置は OPS スロットをもつディスプレイに搭載して使用します。
OPS スロットへの取り付けイメージは、次のとおりです。詳しくは、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

 注意	
	確実に固定する 本装置をディスプレイなどの OPS スロットを持つ装置に接続するときには、本体装置の取り付け方法に従い、確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起し、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

ディスプレイ取り付けイメージ図



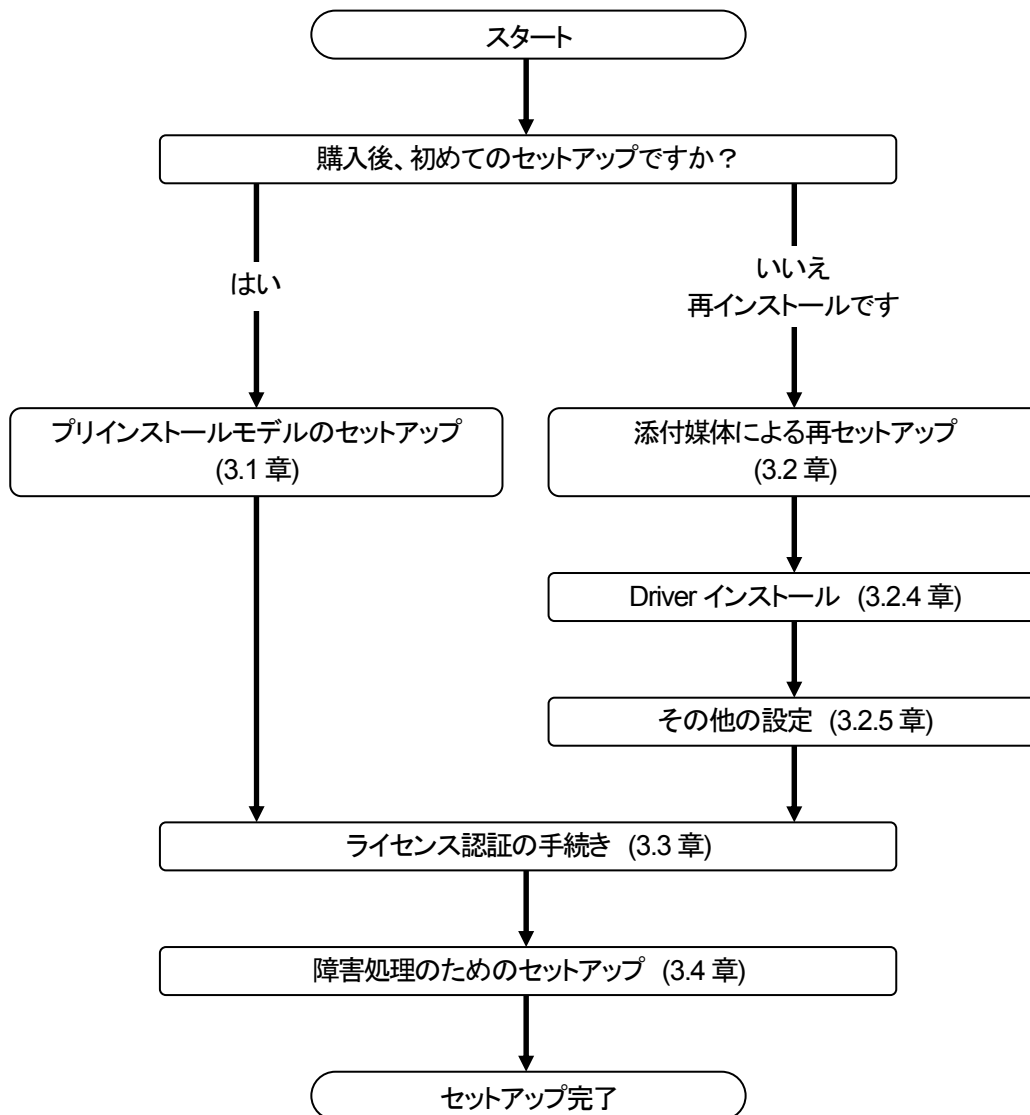
- OPS コントローラを設置する前に、装置底面の COA ラベルに記載されているライセンスキーをメモしてください。プロダクトキーは、Windows8.1 Pro のセットアップ (または再セットアップ) を行うときに必要です。
- ディスプレイへの設置方法は、ディスプレイの取扱説明書を参照してください。



- 本製品は、PC 内蔵電子黒板 BrainBoard (LCD-V652-TM および LCD-V463-TM) に設置することで、ディスプレイとの電源連動を行うことができます。電源連動を行うためには、ディスプレイの電源設定を変更する必要があります。BrainBoard の操作方法や注意事項については、ディスプレイの取扱説明書を参照してください。

3. オペレーティングシステムのセットアップ

次のフローを参考に、本書を参照してセットアップしてください。



3.1. プリインストールモデルのセットアップ

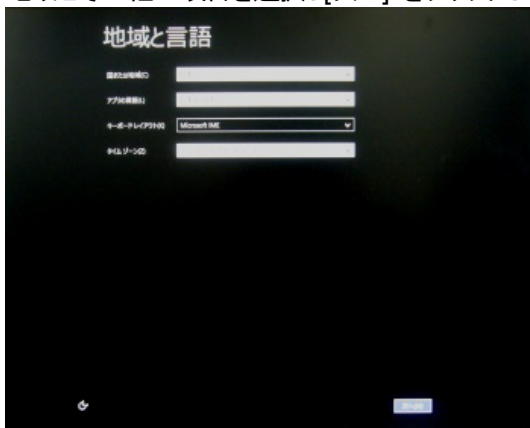
本装置には Windows 8.1 Pro がプリインストールされています。
ここでは、プリインストールモデルの製品で、初めて電源を ON にするときのセットアップについて説明します。
再セットアップするときには、3.2 章を参照してください。

3.1.1. セットアップの手順

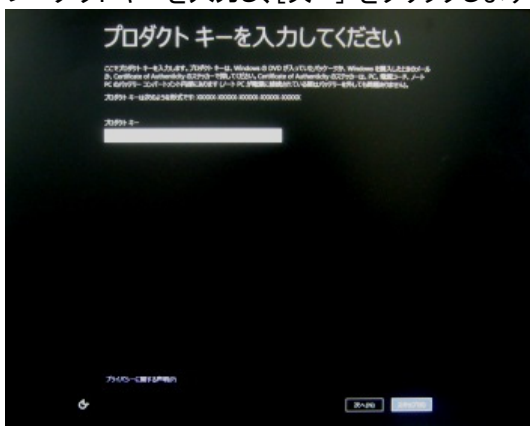


- セットアップを完了するまでは、キーボード、マウス以外のデバイスを接続しないでください。

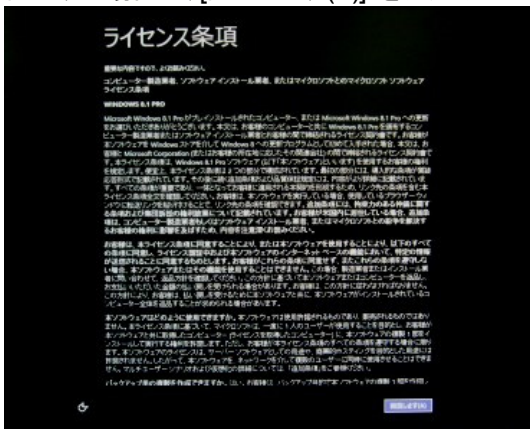
1. リムーバブルメディア、および光ディスクドライブにディスクがセットされていないことを確認します。
2. ディスプレイの主電源を ON にします。
3. 本装置から起動後、地域と言語の設定を行います。
地域とその他の項目を選択し[次へ] をクリックします。



4. プロダクトキーを入力し、[次へ] をクリックします。



5. ライセンス条項の内容を確認します。
同意する場合は、[同意します(A)] をクリックします。



6. パーソナル設定を行い、[次へ] をクリックします。

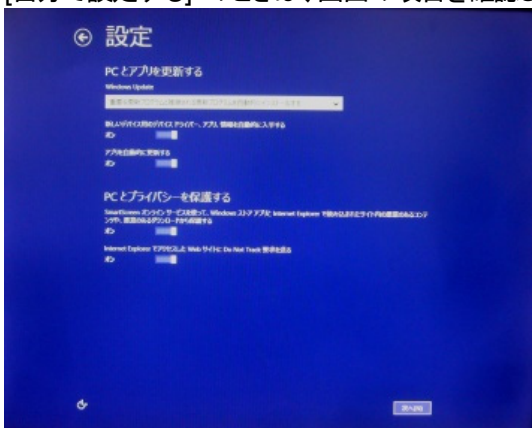


7. 設定内容を確認します。
 ここでは、[簡単設定を使う] をクリックします。

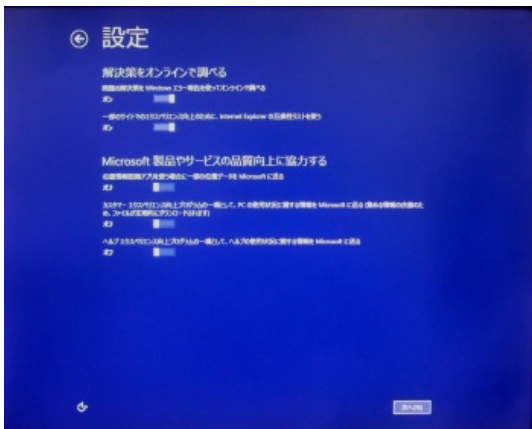


【[簡単設定] 画面】

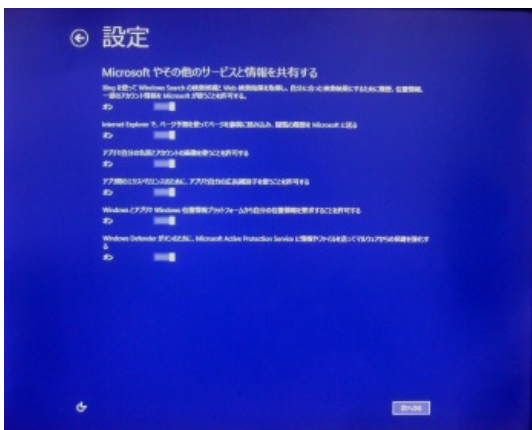
[自分で設定する] のときは、画面の項目を確認し設定してください。



【[自分で設定する] 画面 (1/3)】



【[自分で設定する] 画面 (2/3)】



【[自分で設定する] 画面 (3/3)】

8. ユーザー名とパスワードを入力し、[完了] をクリックします。

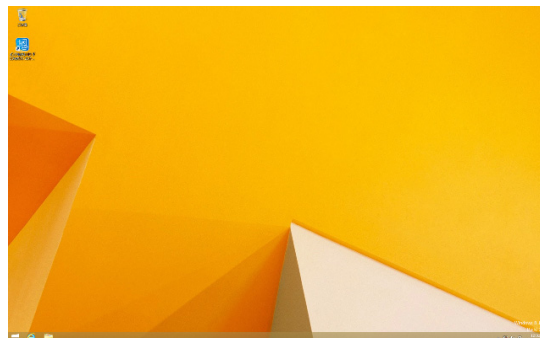
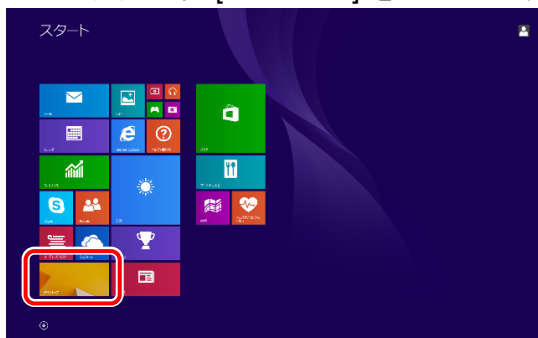


ネットワークに接続しているときは、次の画面が表示されます。
内容を確認し、画面に従って設定してください。



Windows 8.1 Pro が起動します。

9. スタート画面にある[デスクトップ] をクリックします。



10. 「3.3 ライセンス品証の手続き」を参照し、ライセンス認証を行います。
11. 「3.4 障害処理のためのセットアップ」を参照し、障害処理のためのセットアップを行います。

以上で、プリインストールモデルのセットアップは終了です。

3.2. 添付媒体による再セットアップ

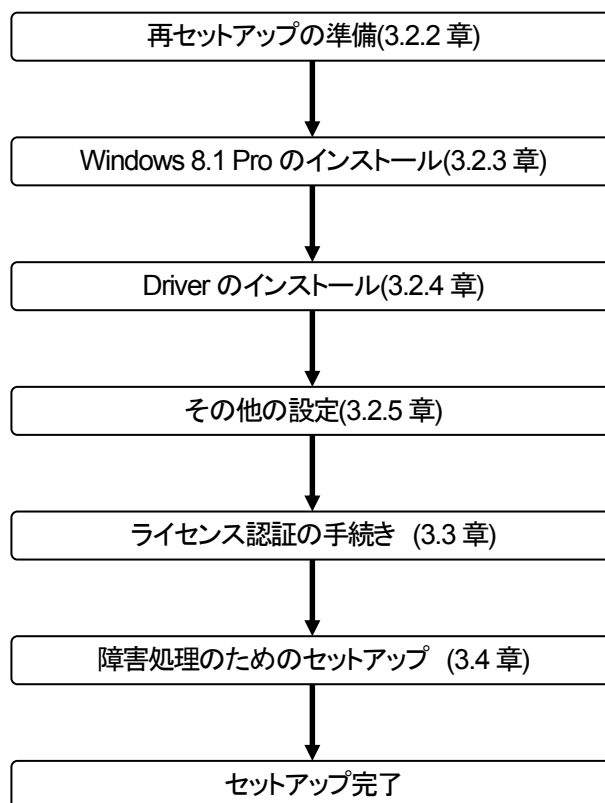
ここでは、添付媒体を使った再セットアップについて説明します。



- 本装置に添付する Windows 8.1 Pro DVD-ROM には、アプリケーションは含まれていません。アプリケーションについては、お客様の責任において再セットアップをお願いします。

3.2.1. 再セットアップの流れ

次のフローを参考に、本書を参照してセットアップしてください。



3.2.2. 再セットアップの準備

再セットアップを始める前に、次のメディアや説明書を用意します。

- Windows 8.1 Pro DVD-ROM
- OPS コントローラ Driver DVD
- 「必ずお読みください」



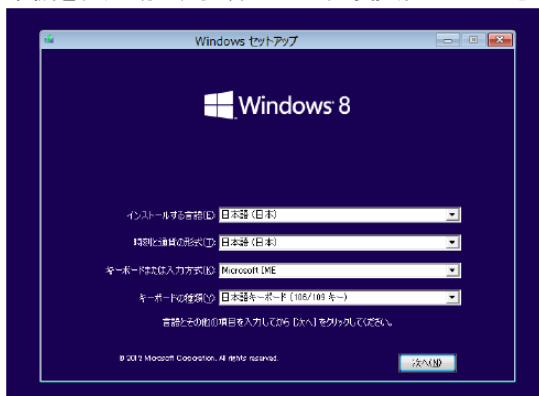
- Windows 8.1 Pro のインストールには、プロダクトキーが必要です。
「必ずお読みください」にプロダクトキーをメモしていない場合は、OPS コントローラをディスプレイから取り外し、装置底面の COA ラベルに記載されているライセンスキーをメモしてください。

3.2.3. Windows 8.1 Pro のインストール

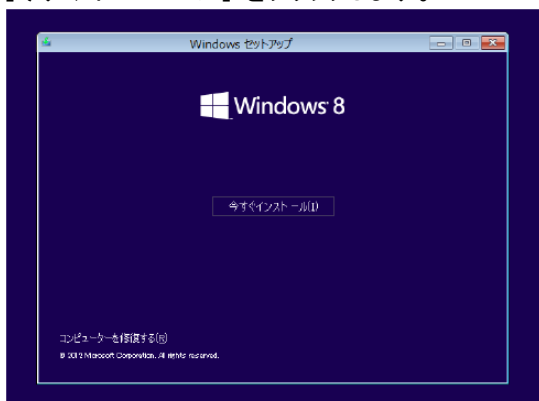
1. USB DVD ドライブに「Windows 8.1 Pro DVD-ROM」をセットし、本装置の USB ポートに接続します。
2. ディスプレイの主電源を ON にします。
3. 画面の上部左側に「Press any key to boot from CD or DVD...」が表示されます。
メディアから起動させるため、<Enter>キーを押してください。
4. 言語とその他の項目を選択し[次へ]をクリックします。

この画面が表示されなかったときは、手順 3 で正しく<Enter>キーが押されていません。

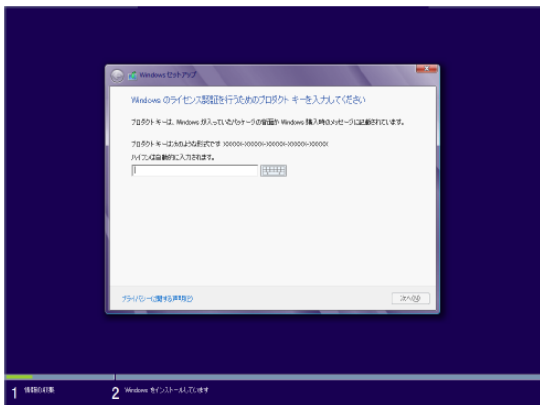
本機を再起動し、手順 2 から再度実行してください。ここでは[日本語(日本)]を選択してください。



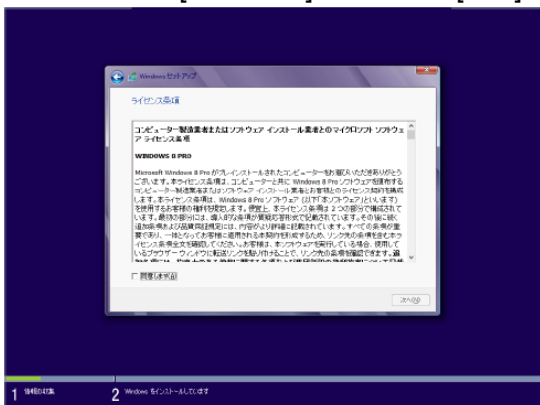
[今すぐインストール] をクリックします。



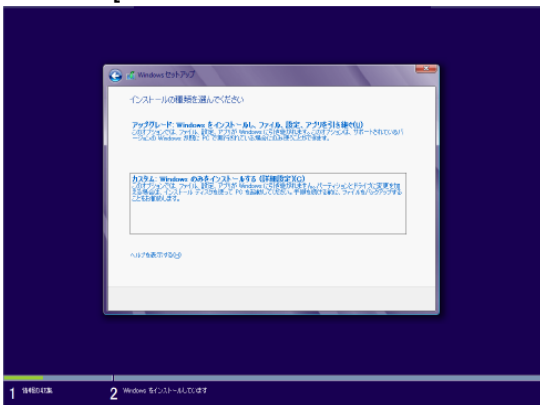
5. プロダクトキーの入力画面が表示された場合、プロダクトキーを入力し[次へ]をクリックします。



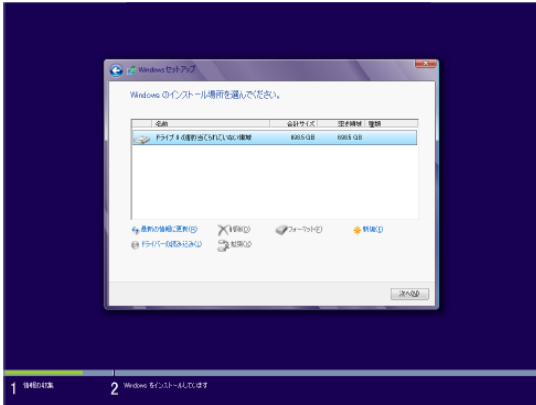
6. ライセンス条項の内容を確認します。
同意する場合は[同意します]をチェックし、[次へ]をクリックします。



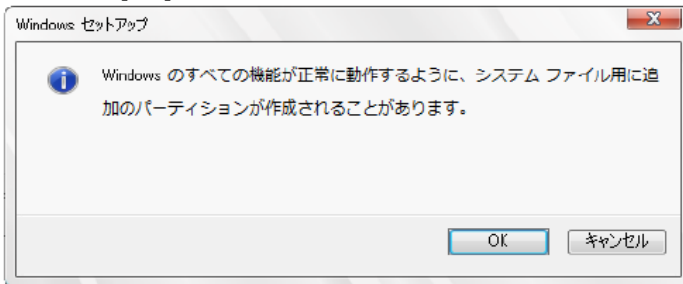
7. インストールの種類を選択します。
ここでは、[カスタム: Windows のみをインストールする(詳細設定)] をクリックします。



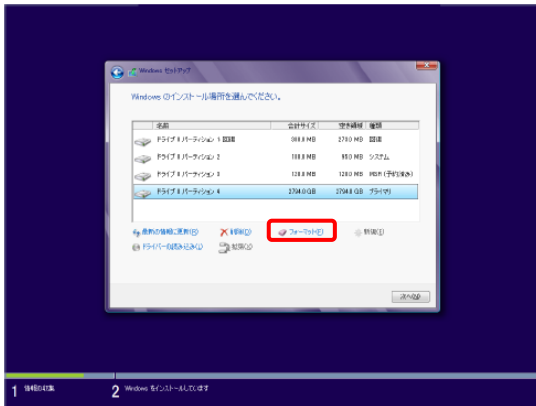
8. [新規] をクリックします。
入力ボックスにパーティションのサイズを入力し、[適用] をクリックします。



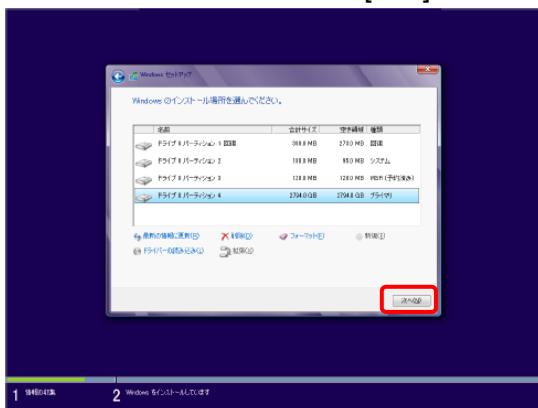
以下では、[OK] をクリックしてください。



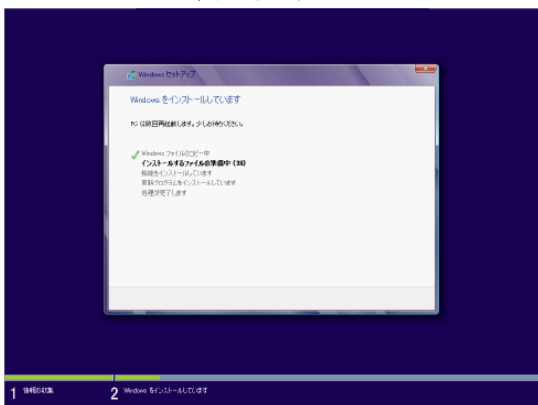
9. 手順 8,9 で作成したパーティションを選択し、[フォーマット] をクリックします。



10. 作成したパーティションを選択し、[次へ] をクリックします。



次のメッセージが表示され、Windows のインストールが始まります。



Windows 8.1 Pro のインストール後、自動で再起動します。
再起動後、引き続き Windows のセットアップを開始します。

11. パーソナル設定を行い、[次へ] をクリックします。

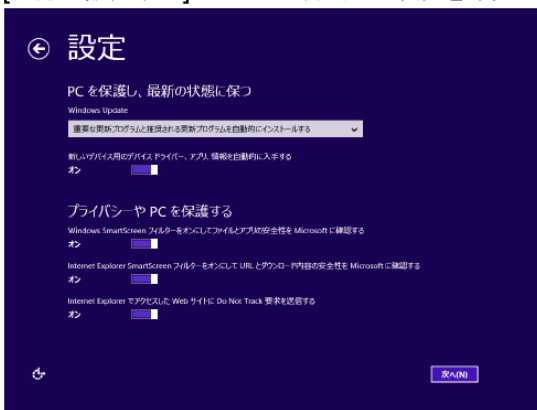


12. 設定内容を確認します。
ここでは、[簡易設定を使う] をクリックします。

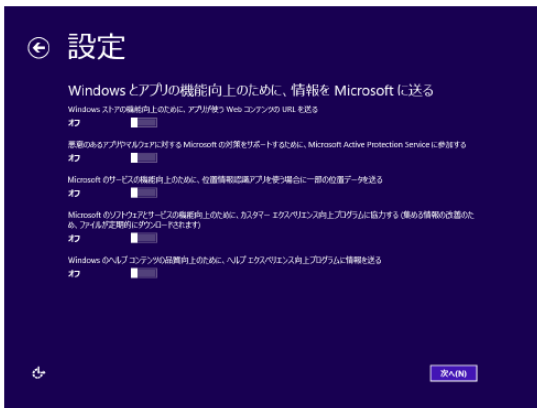


【[簡易設定] 画面】

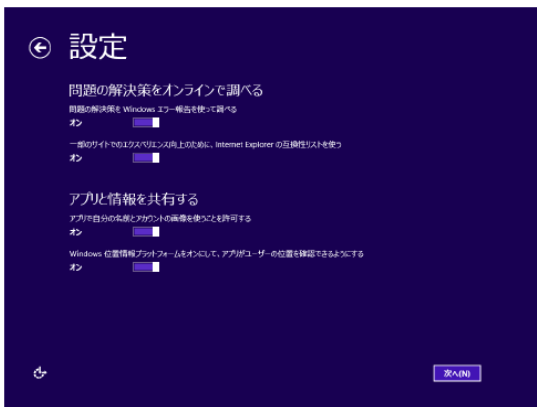
[自分で設定する] のときは、画面の項目を確認し設定してください。



【[自分で設定する] 画面 (1/3)】

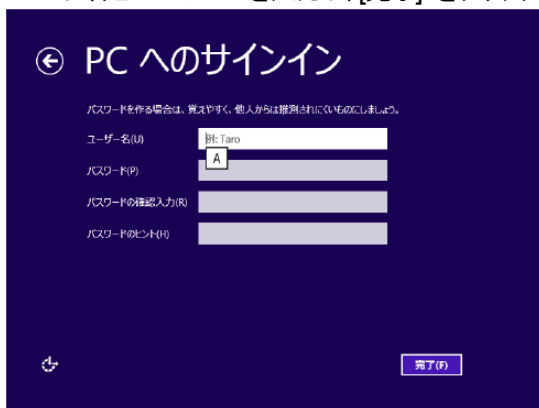


【[自分で設定する] 画面 (2/3)】

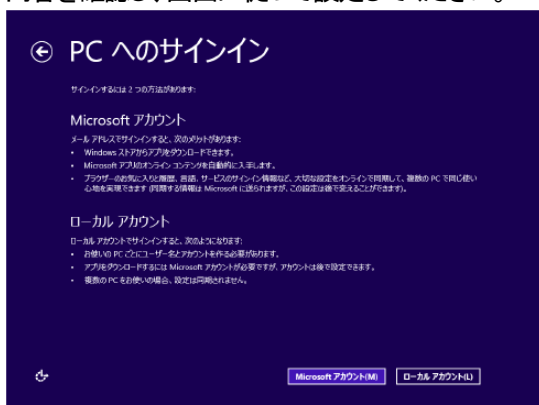


【[自分で設定する] 画面 (3/3)】

13. ユーザ名とパスワードを入力し、[完了] をクリックします。

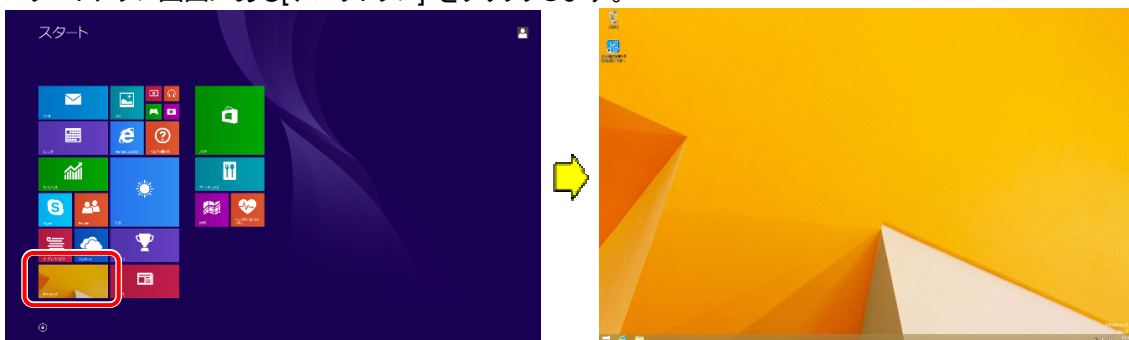


ネットワークに接続しているときは、次の画面が表示されます。
内容を確認し、画面に従って設定してください。



Windows 8.1 Pro が起動します。

スタートアップ画面にある[デスクトップ] をクリックします。



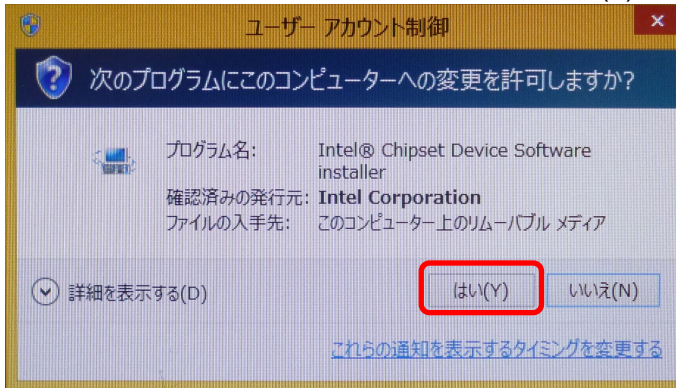
以上で、Windows 8.1 Pro のインストールは終了です。
引き続き、「3.2.4 Driver のインストール」を参照し、Driver のインストールを行います。

3.2.4. Driver のインストール

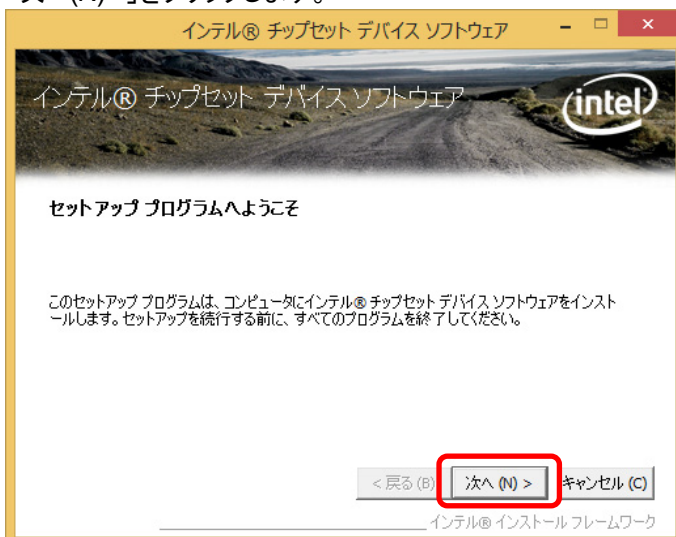
1. USB DVD ドライブに「OPS Controller Windows 8.1 Pro Driver DVD-ROM (以下、Driver DVD)」をセットし、本装置の USB ポートに接続します。
2. Chipset Driver をインストールします。

Driver DVD 内の[01_Drivers] - [01_Chipset] フォルダに格納されている「Infnst_autol.exe」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

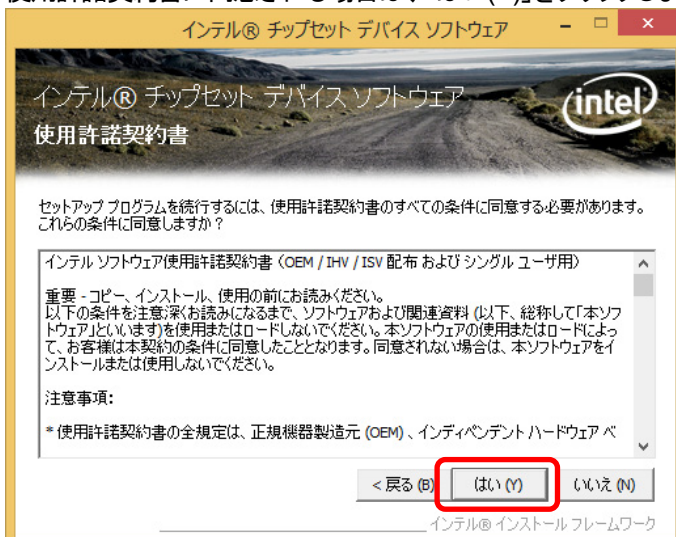
ユーザアカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



「次へ(N) >」をクリックします。



使用許諾契約書に同意される場合は、「はい(Y)」をクリックします。



Readme ファイル情報を読み、「次へ(N)>」をクリックします。

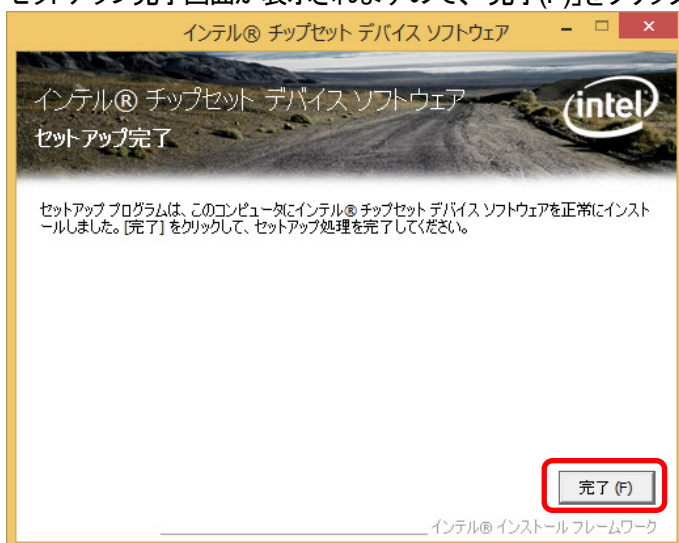


セットアップの進行状況が表示されます。

「[次へ]をクリックして続行してください。」と表示されるのを確認し、「次へ(N)>」をクリックします。



セットアップ完了画面が表示されますので、「完了(F)」をクリックします。

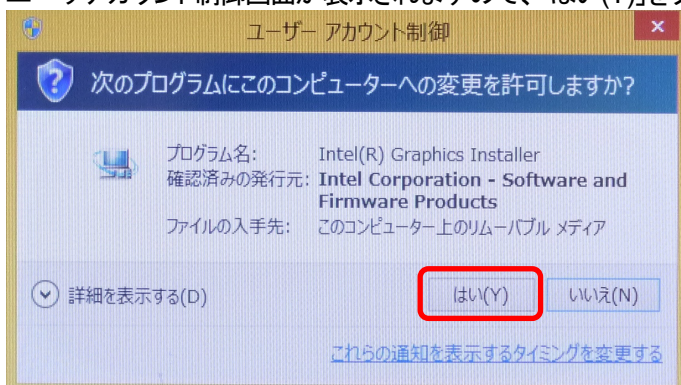


Chipset Driver のインストールは完了です。

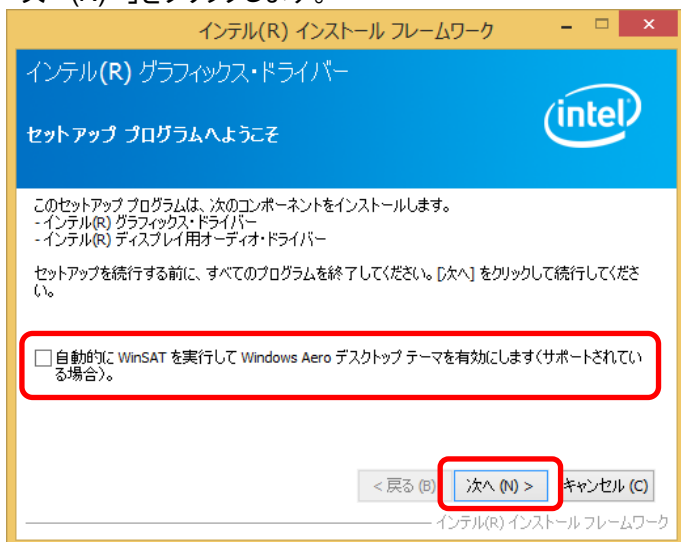
3. Graphics Driver をインストールします。

Driver DVD 内の[01_Drivers] - [02_Graphics] フォルダに格納されている「Setup.exe」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

ユーザアカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



「自動的に WinSAT を実行して Windows Aero デスクトップテーマを有効にします」のチェックを外し、「次へ(N) >」をクリックします。



使用許諾契約書に同意される場合は、「はい(Y)」をクリックします。

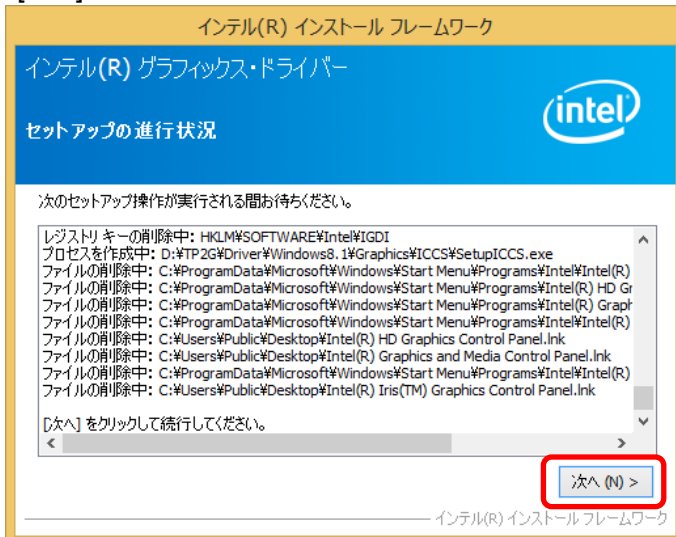


Readme ファイル情報を読み、「次へ(N)>」をクリックします。

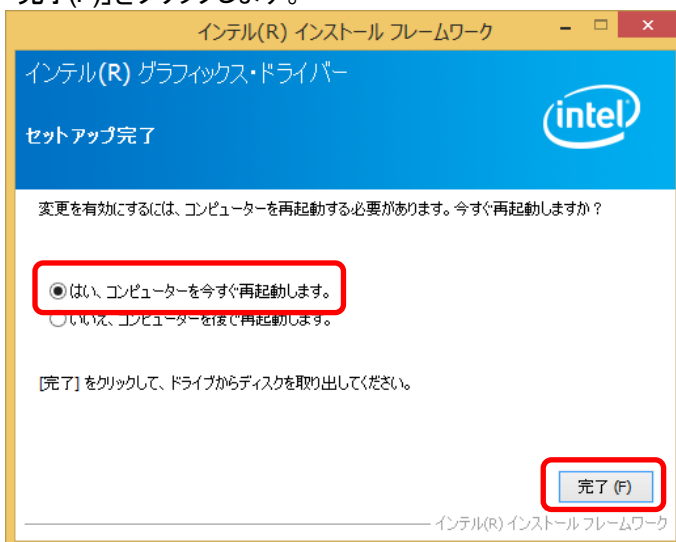


セットアップの進行状況が表示されます。

「[次へ]をクリックして続行してください。」と表示されるのを確認し、「次へ(N)>」をクリックします。



セットアップ完了画面が表示されますので、「はい、コンピュータを今すぐ再起動します。」を選択したまま「完了(F)」をクリックします。

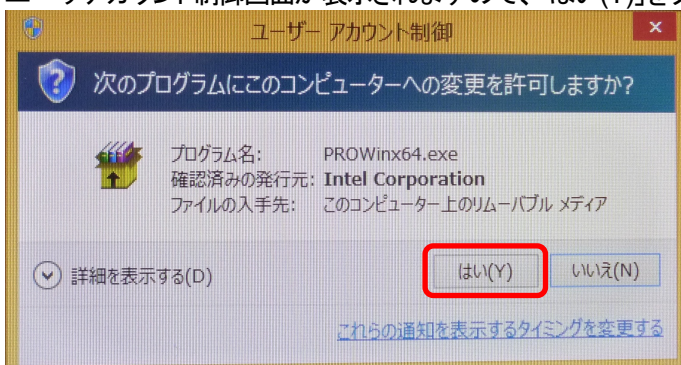


本装置が再起動し、Graphics Driver のインストールは完了です。

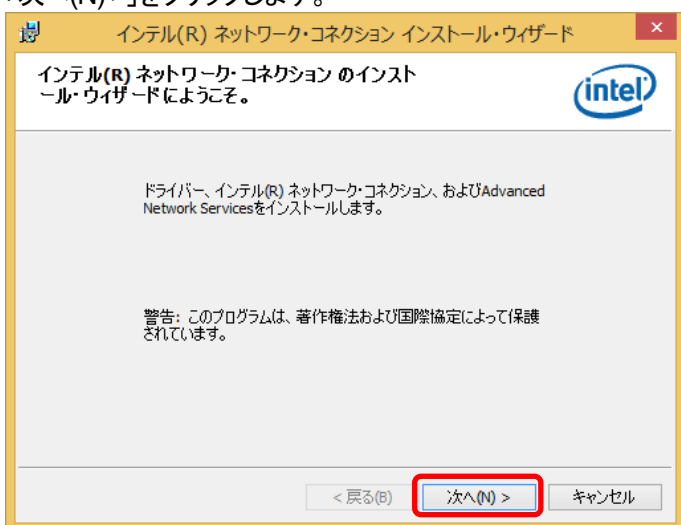
4. LAN Driver をインストールします。

Driver DVD 内の[01_Drivers] - [03_LAN] フォルダに格納されている「PROWinx64.exe」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

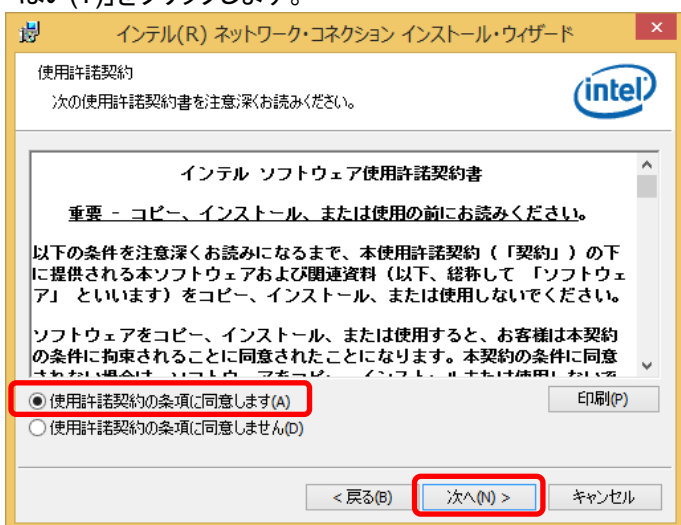
ユーザアカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



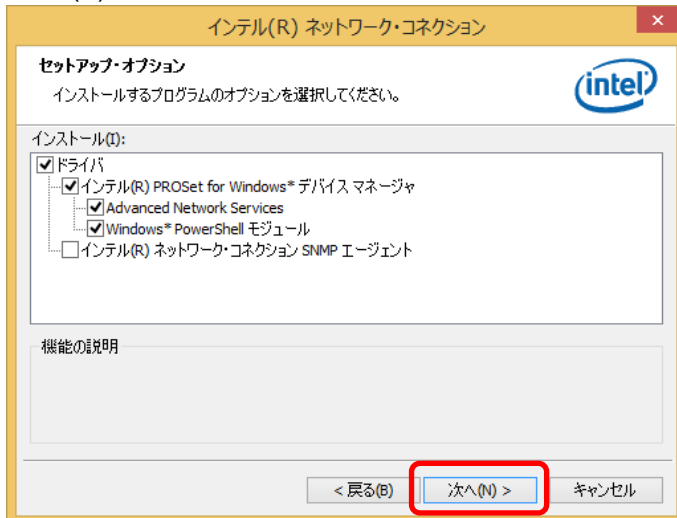
「次へ(N) >」をクリックします。



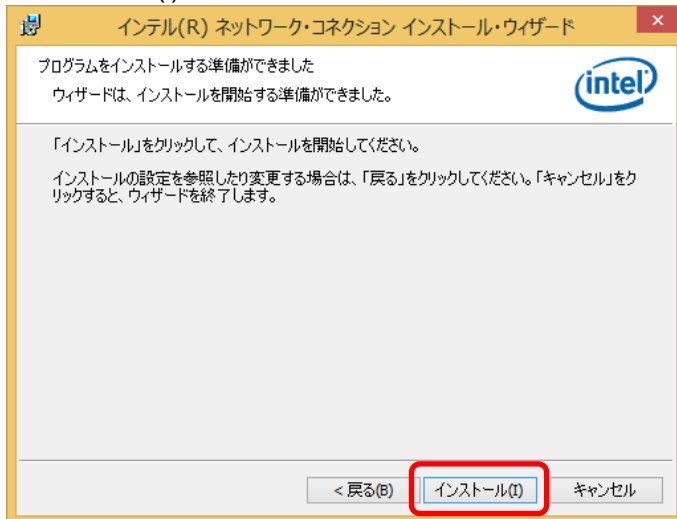
使用許諾契約書に同意される場合は、「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択したまま「はい(Y)」をクリックします。



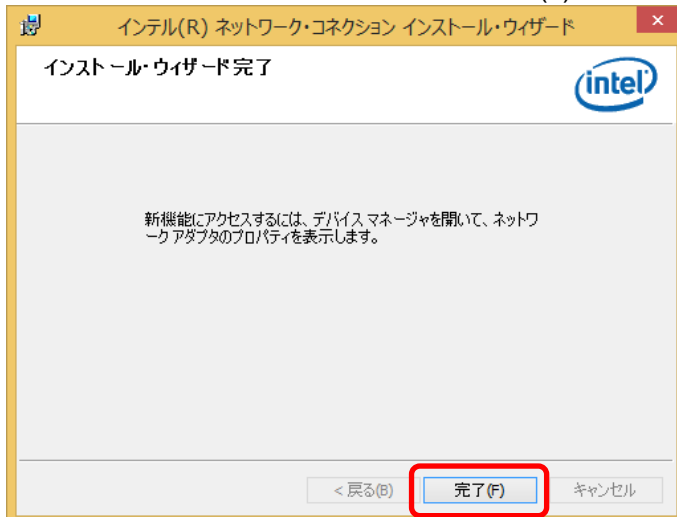
「次へ(N)>」をクリックします。



「インストール(I)」をクリックします。



セットアップ完了画面が表示されますので、「完了(F)」をクリックします。

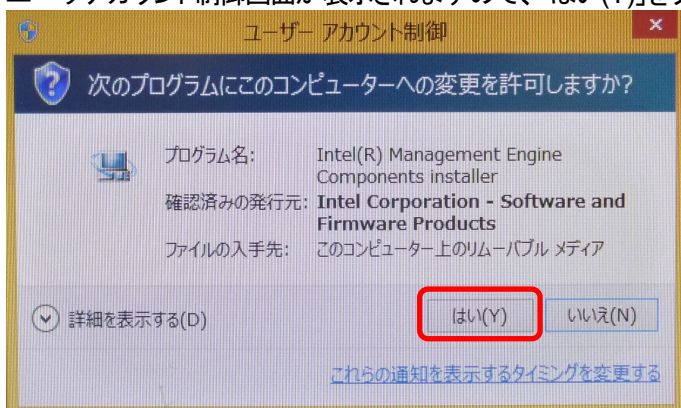


LAN Driver のインストールは完了です。

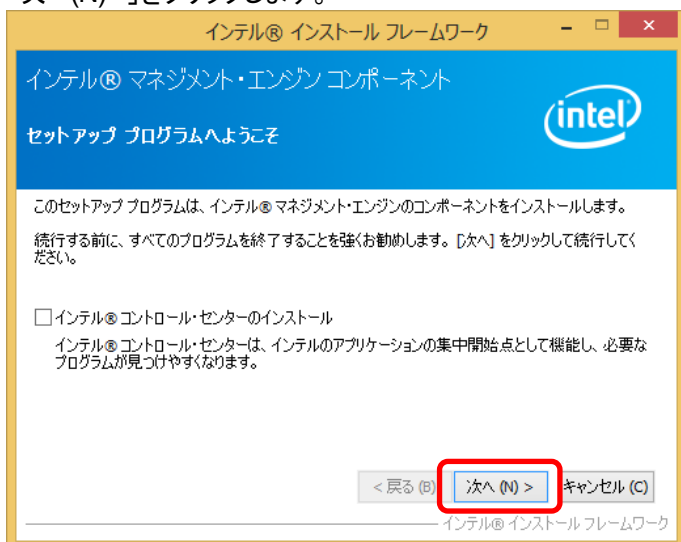
5. ME Driver をインストールします。

Driver DVD 内の[01_Drivers] - [04_ME] フォルダに格納されている「Setup.exe」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

ユーザアカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



「次へ(N)>」をクリックします。

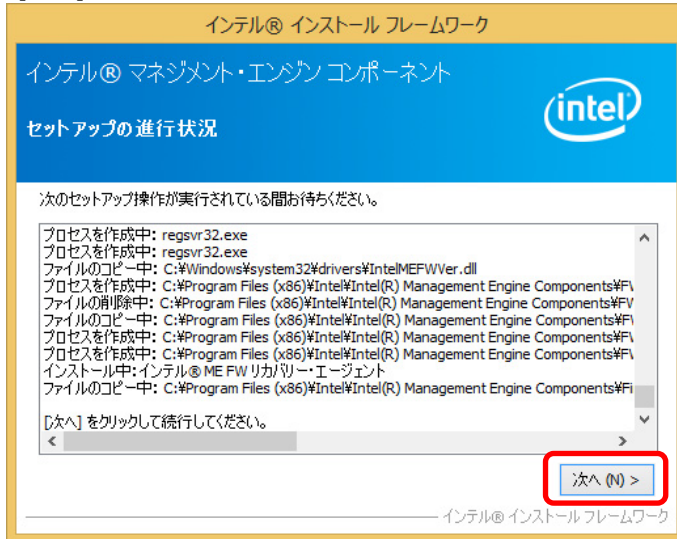


使用許諾契約書に同意される場合は、「はい(Y)」をクリックします。



セットアップの進行状況が表示されます。

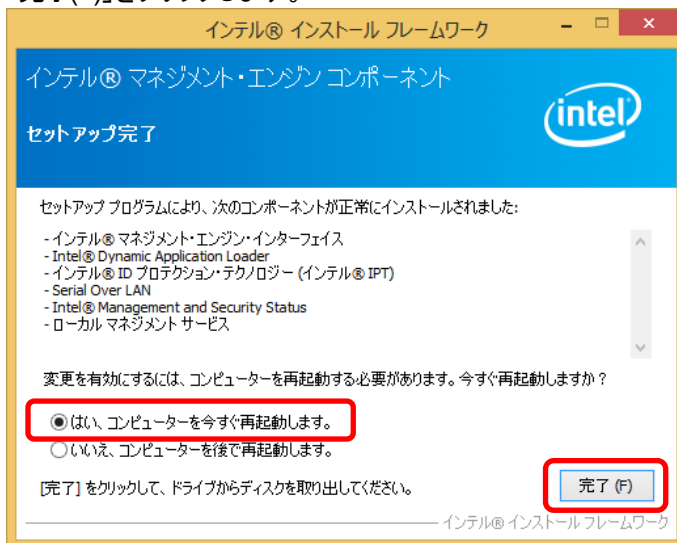
「[次へ]をクリックして続行してください。」と表示されるのを確認し、「次へ(N) >」をクリックします。



セットアップ中に次の使用許諾契約書の画面が表示されることがありますが、無視してください。



セットアップ完了画面が表示されますので、「はい、コンピュータを今すぐ再起動します。」を選択したまま「完了(F)」をクリックします。

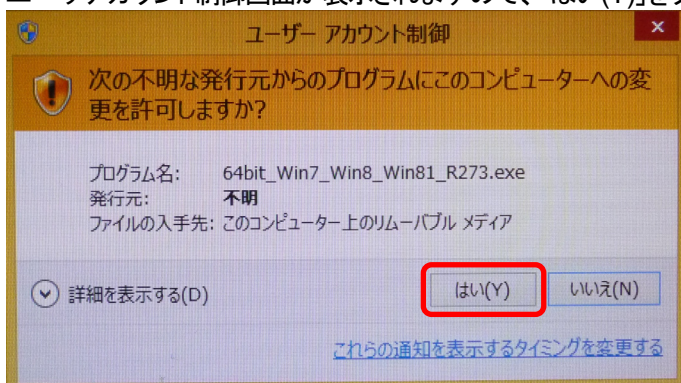


本装置が再起動し、ME Driver のインストールは完了です。

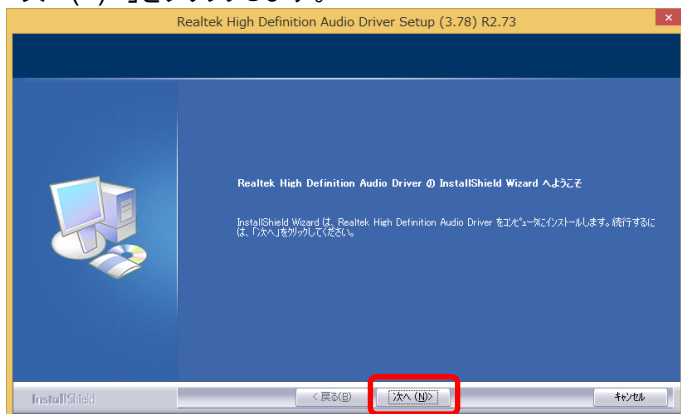
6. Audio Driver をインストールします。

Driver DVD 内の[01_Drivers] - [05_Audio] フォルダに格納されている「64bit_Win7_Win8_Win81_R273.exe」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

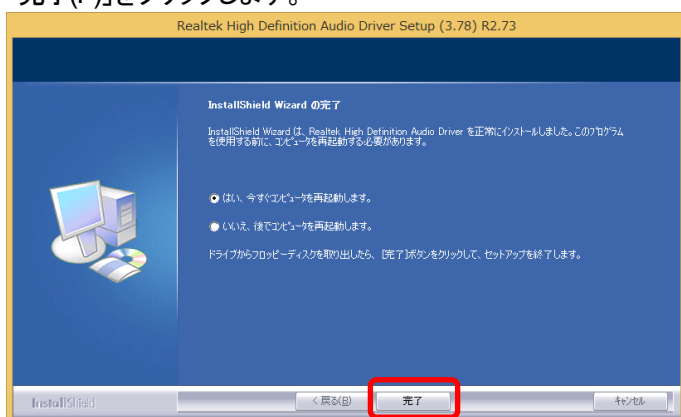
ユーザアカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



「次へ(N)>」をクリックします。



セットアップ完了画面が表示されますので、「はい、コンピュータを今すぐ再起動します。」を選択したまま「完了(F)」をクリックします。

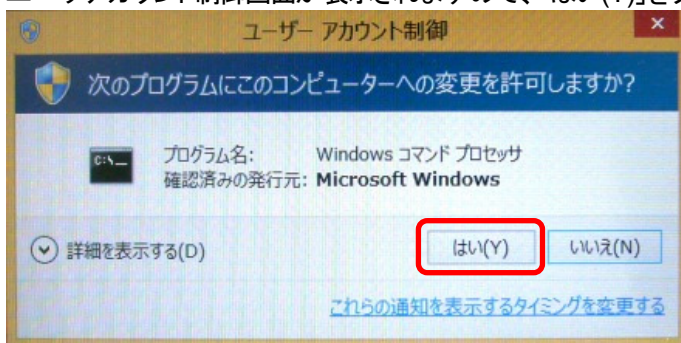


本装置が再起動し、Audio Driver のインストールは完了です。

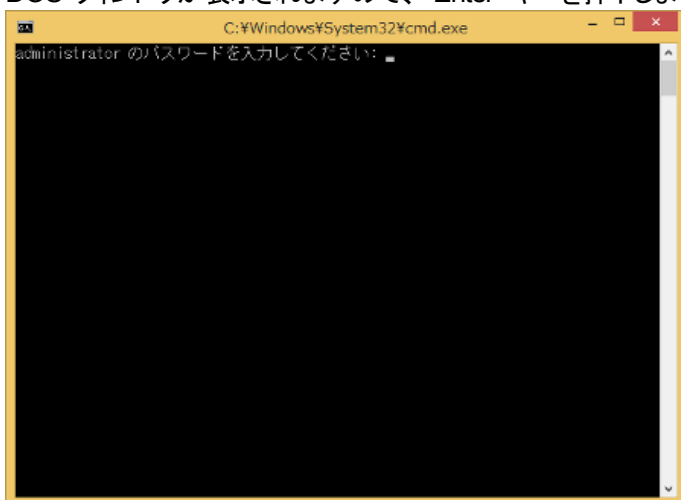
以上で、Driver のインストールは完了です。
引き続き、「3.2.5 その他の設定」を参照し、詳細設定を行います。

3.2.5. その他の設定

1. Driver DVD 内の[02_Others] フォルダに格納されている「Setup.bat」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。
2. ユーザーアカウント制御画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



3. DOS ウィンドウが表示されますので、<Enter>キーを押下します。



4. 本装置を最適な環境でご使用頂く設定が行われます。
完了後、自動的に再起動します。

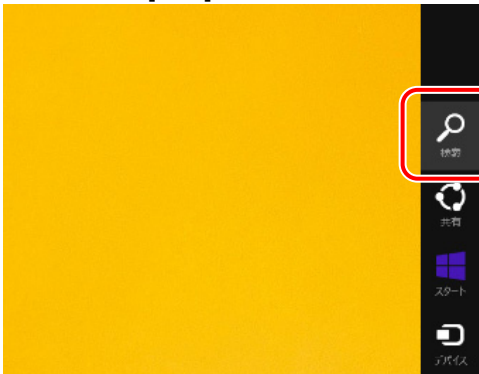
以上で、その他の設定は完了です。

再起動後、「3.3 ライセンス品証の手続き」を参照し、ライセンス認証を行います。

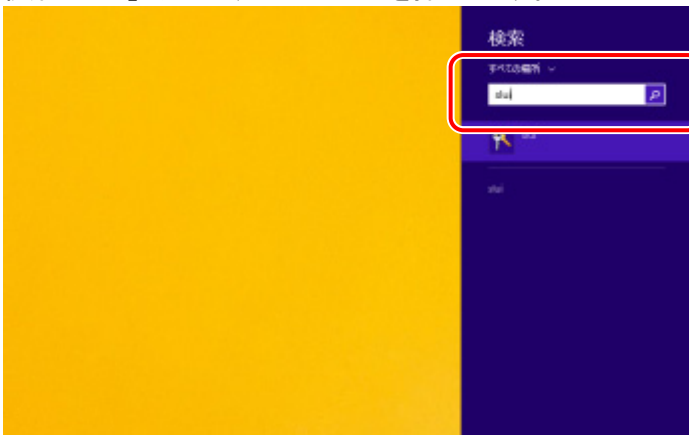
3.3. ライセンス認証の手続き

Windows 8.1 Pro を使用するには、ライセンス認証の手続きが必要です。必ず認証の手続きを行ってください。次の手順でライセンス認証手続きを行います。

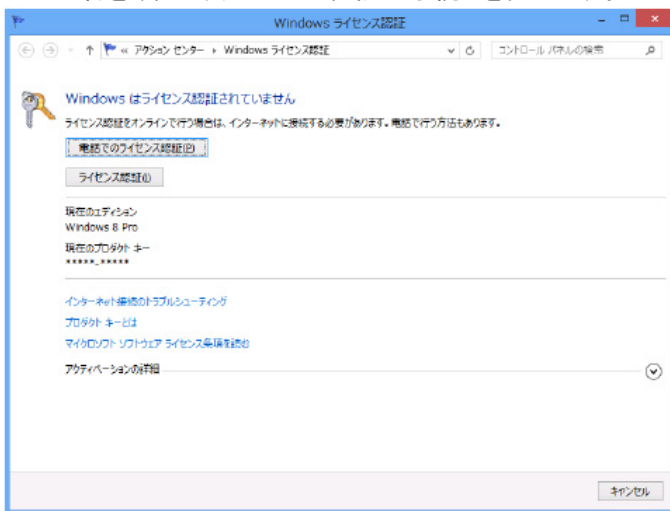
1. チャームから[検索]をクリックします。



2. 検索で「slui」と入力し、<Enter>キーを押下します。



3. 次の内容を確認し、ライセンス認証の手続きを行います。



- ライセンス認証済みのときは、手続きの必要はありません。

以上で、ライセンス認証の手続きは完了です。引き続き、「3.4 障害処理のためのセットアップ」を参照し、障害処理のためのセットアップを行います。

3.4. 障害処理のためのセットアップ

問題が起きたとき、より早く、確実に復旧できるように、あらかじめ次のようなセットアップをしてください。

3.4.1. メモリダンプ(デバッグ情報)の設定

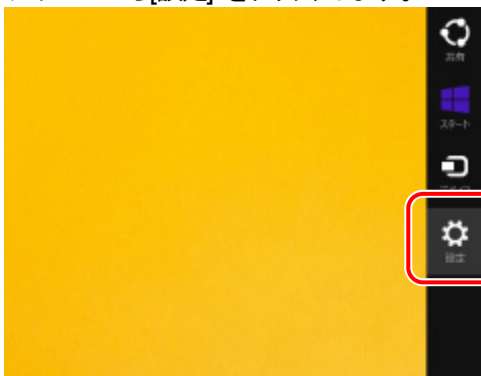
メモリダンプ(デバッグ情報)を採取するための設定です。



- メモリダンプの採取は保守サービス会社の保守員が行います。お客様はメモリダンプの設定のみを行ってください。
- メモリダンプを保存するために再起動すると、起動時に、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがあります。この場合、そのまま起動してください。リセットや再起動すると、メモリダンプを正しく保存できないことがあります。

次の手順でメモリダンプの設定を行います。

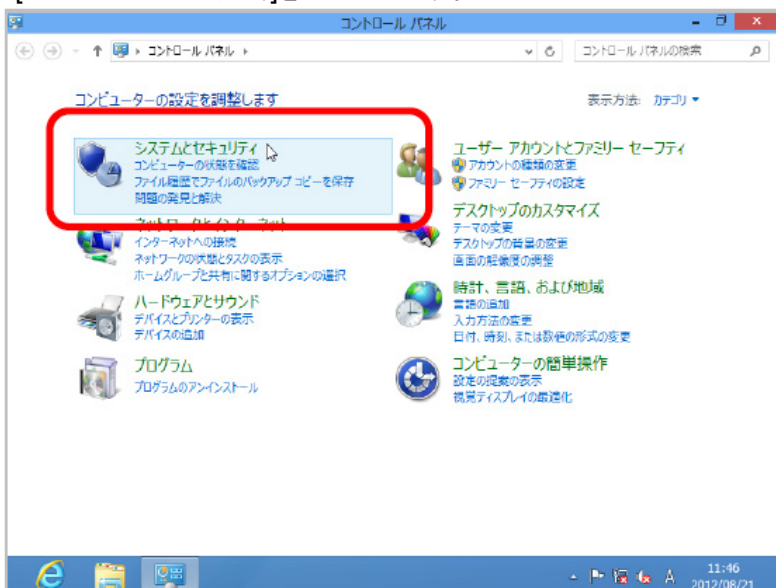
1. チャームから[設定] をクリックします。



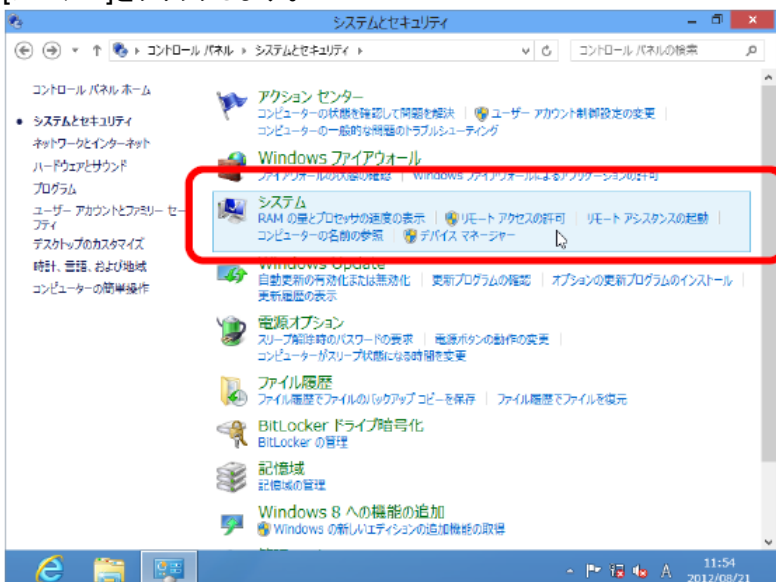
2. [コントロールパネル] をクリックします。



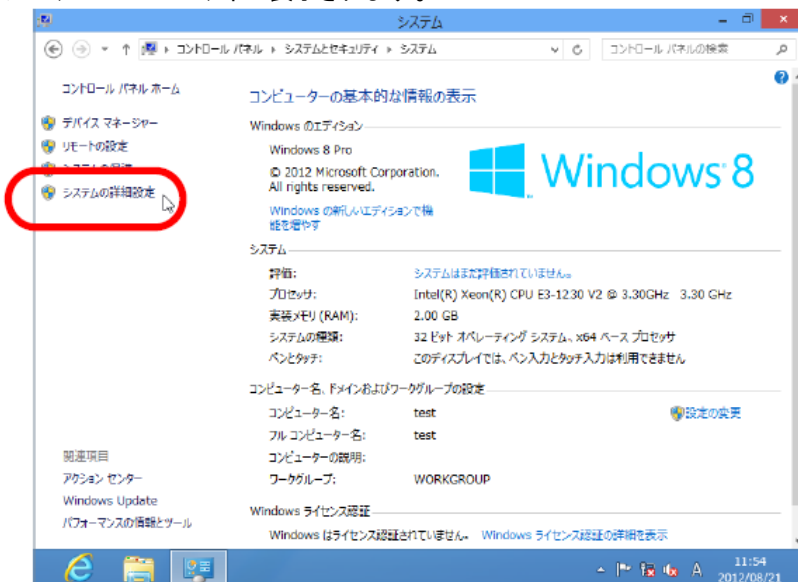
3. [システムとセキュリティ]をクリックします。



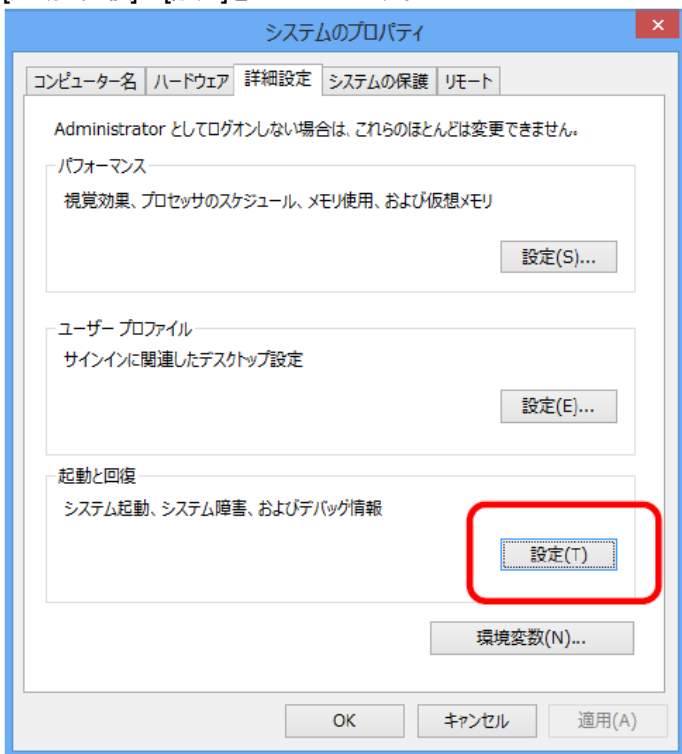
4. [システム]をクリックします。



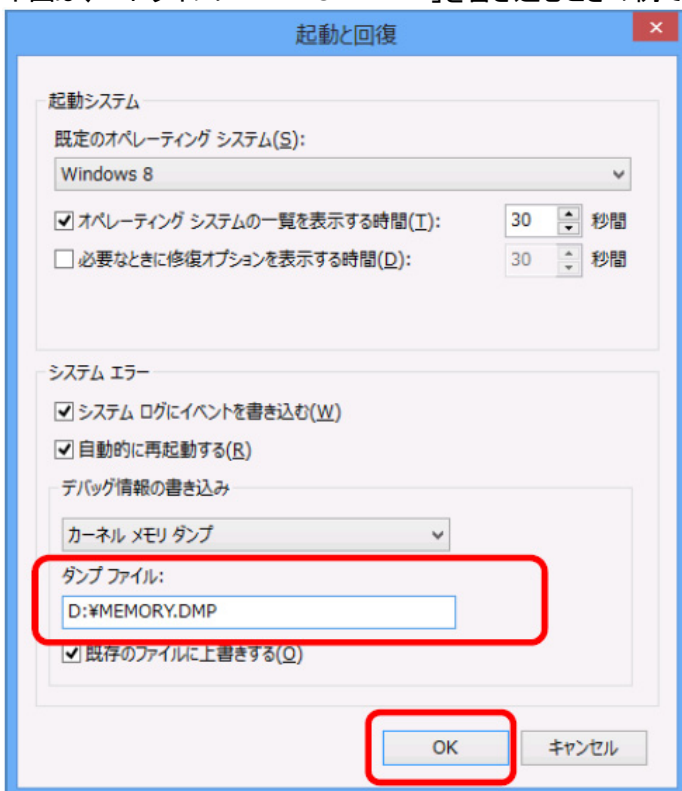
5. [システムの詳細設定]をクリックします。
システムのプロパティが表示されます。



6. [起動と回復]の[設定]をクリックします。



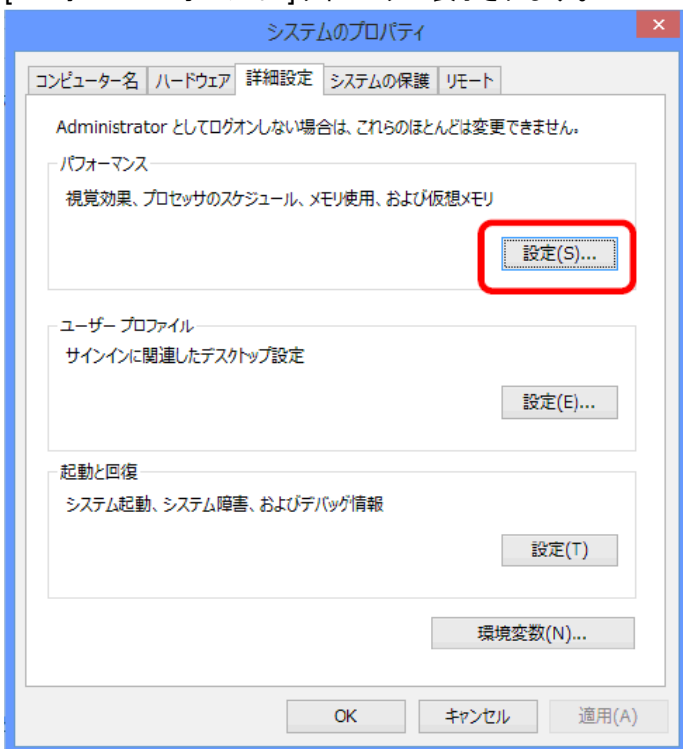
7. [ダンプファイル]にダンプファイルのパスを入力し、[OK]をクリックします。
下図は、D ドライブに「MEMORY.DMP」を書き込むときの例です。



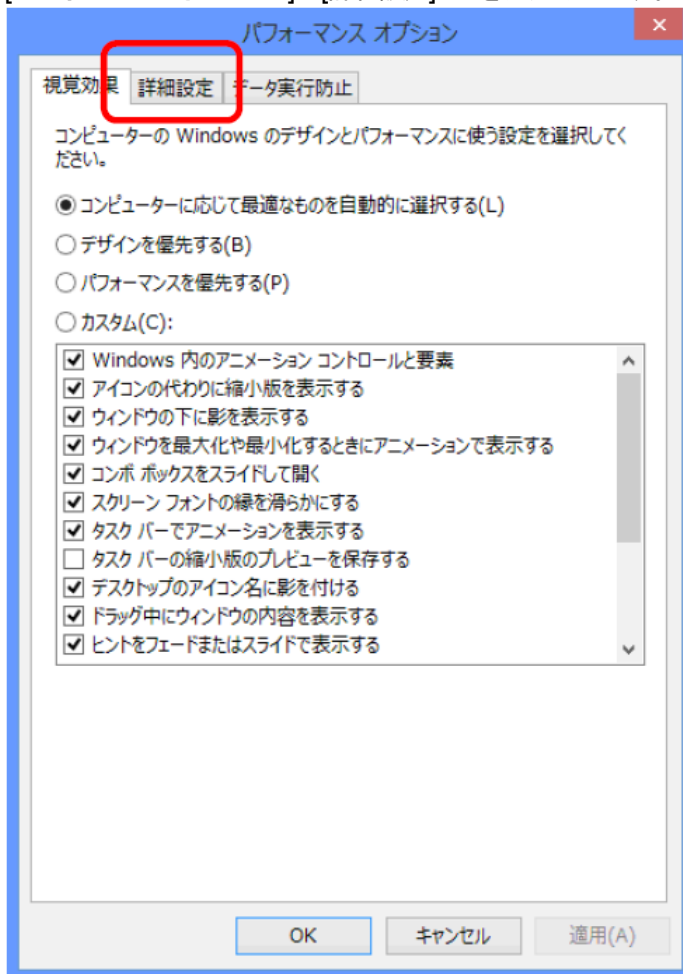
ダンプファイルについては、以下に注意して設定してください。

- [デバッグ情報の書き込み]は[カーネルメモリダンプ]を指定することを推奨します。
- 搭載しているメモリサイズ + 400MB 以上の空き容量のあるドライブを指定してください。
- ワークグループ環境の場合は、25GB 以上の空き容量があるドライブを指定してください。

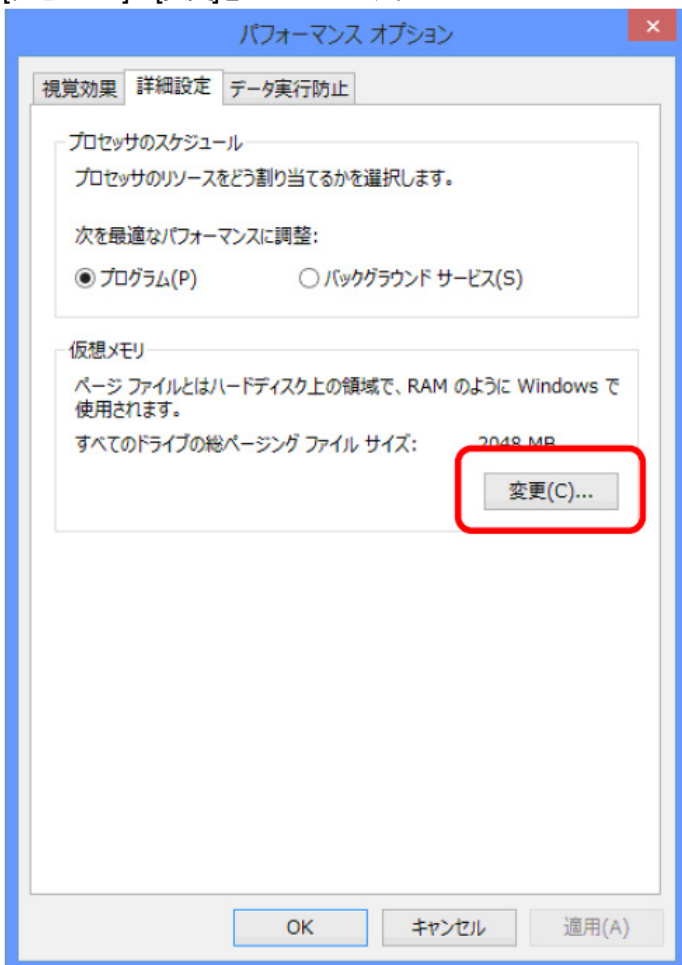
8. [パフォーマンス]の[設定]をクリックします。
[パフォーマンスオプション]ウィンドウが表示されます。



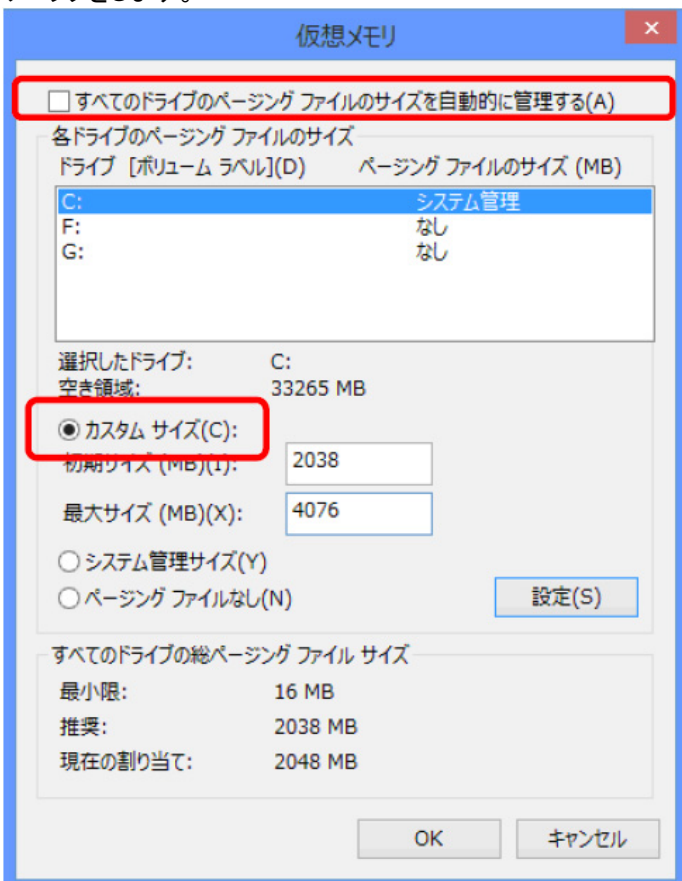
9. [パフォーマンスオプション]の[詳細設定]タブをクリックします。



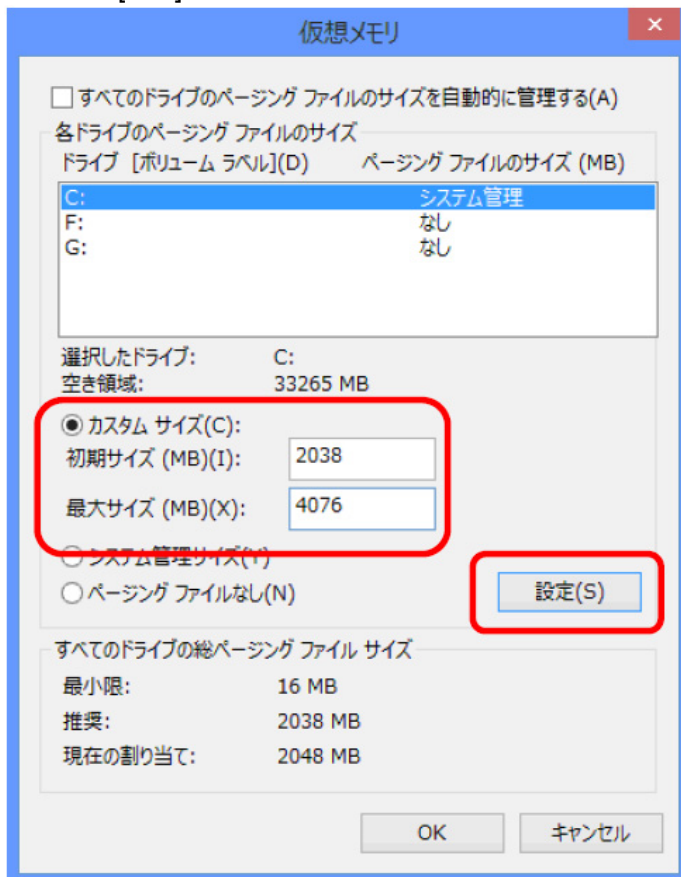
10. [仮想メモリ]の[変更]をクリックします。



11. [すべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する]のチェックを外し、[カスタムサイズ]にチェックをします。



12. [各ドライブのページングファイルのサイズ]の[初期サイズ]を推奨値以上に、[最大サイズ]を[初期サイズ]以上に変更し、[設定]をクリックします。



ページングファイルについては、以下に注意して設定してください。

- ページングファイルはデバッグ情報(ダンプファイル)採取のために利用されます。ブートボリュームには、ダンプファイルを格納するのに十分な大きさの初期サイズ(搭載物理メモリサイズ+400MB 以上)を持つページングファイルが必要です。
また、ページングファイルが不足すると仮想メモリ不足により正確なデバッグ情報を採取できない場合がありますため、システム全体で十分なページングファイルサイズ(搭載物理メモリサイズの 1.5 倍以上を推奨します)を設定してください。

13. [OK]をクリックします。

Windows を再起動するようメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

以上で、障害処理のためのセットアップは完了です。

4. OS・ソフトウェアに関する注意事項

本装置にプリインストールしている Windows 8.1 Pro には、運用上の注意事項があります。使用する際は注意事項を良く理解した上で使用してください。

モニタ識別について

本装置では接続されたディスプレイの固有情報、シリアルナンバー等(EDID)を基に解像度設定を行います。そのため、同じ製品のディスプレイであっても、シリアルナンバー等が違うディスプレイに初めて接続した際に解像度設定が変わる場合があります。その場合は再度、解像度設定してください。そのディスプレイにおける設定情報が本装置に記録されるので、その後は再設定する必要はありません。

ディスプレイの電源設定

本装置はディスプレイから電源が供給されるため、ディスプレイの電源を OFF すると本装置への電源も OFF される場合があります。予期せぬタイミングで電源供給が OFF すると本装置が破損するおそれがありますのでディスプレイの電源設定を正しく行ってください。詳細はディスプレイの取扱説明書を参照してください。

Windows Update について

Windows 8.1 ではアップデートプログラムが配信され、セキュリティ強化や機能追加が行われることがあります。アップデートプログラムを適用していない場合、Windows Update 経由でセキュリティ更新プログラムを提供されなくなりますので、アップデートプログラムの適用をおすすめします。本装置では 2015 年 5 月以降に出荷された製品に対してアップデートプログラムを適用しています。アップデートプログラムの詳細については、Microsoft 社のホームページを参照ください。

Windows8.1 Update の新機能:

<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/whats-new>

ライセンス通知

本装置の一部(システム BIOS)には、下記ライセンスのオープンソースソフトウェアが含まれています。

- EDK from Tianocore.org
- EDK2 from Tianocore.org
- UEFI Network Stack 2
- Crypto package using WPA Supplicant

ライセンス文

[EDK form Tianocore.org](http://www.tianocore.org)

BSD License from Intel
Copyright (c) 2004, Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- ・ Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- ・ Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- ・ Neither the name of the Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR

PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

EDK2 from Tianocore.org

BSD License from Intel
Copyright (c) 2012, Intel Corporation
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

UEFI Network Stack 2

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Crypto package using WPA Supplicant

WPA Supplicant

Copyright (c) 2003-2012, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

5. 日常の保守

本製品を常に最適な状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。
万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに販売店または保守サービス会社に保守を依頼してください。

バックアップ

定期的には本装置内の大切なデータを市販のバックアップツールなどを利用してバックアップすることをお勧めします。バックアップに必要な装置や条件などについてはバックアップツールの説明書などを参照してください。

6. トラブルシューティング

本製品が思ったように動作しないときは、修理に出す前に、次のチェックリストを参照して本機をチェックしてください。
リストに該当するような項目があるときは、記載の対処方法を試してみてください。
それでも正常に動作しないときは、ディスプレイに表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

解像度を変更したのに戻ってしまう

異なるディスプレイに接続していませんか？
[4. OS・ソフトウェアに関する注意事項]を確認してください。

前面にあるディスプレイのコネクタ形状が合わない

本装置はディスプレイに内蔵して使う以外に、前面に設けた1つの DisplayPort (DP)端子から映像信号を出力することができます。DisplayPort 入力がないディスプレイと本装置を接続する場合は変換ケーブルを使うことにより接続できる場合があります。

変換ケーブルには一般的に以下のような種類がありますので、お客様にてご購入ください。

- DP-HDMI 変換ケーブル
- DP-DVI-D 変換ケーブル
- DP-VGA 変換ケーブル

内蔵ディスクへの書き込みを制限したい

Windows 8.1 Pro では、EWF (Enhanced Write Filter)機能をサポートしていません。
EWF 機能を使用したい場合は、WS7E(Windows Embedded Standard 7)モデルをご購入ください。

デバッグ情報 (メモリダンプ) を取得したい

本装置は、初期設定ではデバッグ情報(メモリダンプ)は取得しません。
[3.4 障害処理のためのセットアップ]を参照してデバッグ情報を採取する設定に変更してください。

DVD が再生できない

Windows 8.1 Pro には、DVD ムービーの再生機能はありません。
DVD ムービーを再生したい場合は、お客様の責任にて DVD 再生用のアプリケーションをご使用ください。

7. 装置仕様一覧

項目		N8000-8870	N8000-8871	N8000-8874	N8000-8875
CPU		Intel® Core i5-3610ME (3.30GHz)		Intel® Celeron 1020E (2.20GHz)	
Chipset		Mobile Intel® QM77 Express			
Memory	Type	DDR3 non-ECC Un-buffered SO-DIMM			
	容量	4GB			
	Max	4GB (4GB x 1)			
Graphics		チップセット内蔵			
外部 I/O I/F	Serial	なし			
	Graphics	DisplayPort 1ch			
	Sound	Line-in / Line-out			
	USB	USB 2.0 3ch			
	LAN	10/100/1000Base-T 1ch			
	PS/2	なし			
	Other	Display I/F コネクタ x1 (80pin : DVI-D x1、DisplayPort x1、USB 2.0 x3、USB 3.0 x1、 COM(TX/RX のみ) x1、Line-out x1、電源(DC12V-19V))			
BOOT デバイス	Type	SATA Hard Disk Drive	SATA Solid State Drive	SATA Hard Disk Drive	SATA Solid State Drive
	容量	320GB	60GB	320GB	60GB
OS		Windows 8.1 Pro			
外形寸法 (W×D×H)		200 x 119 x 30 mm (突起物は含まない)			
質量		0.9kg			
電源(電圧・周波数)		DC 12-19V ±5%			
動作環境	温度	5°C~45°C (OPS コントローラの周辺温度)			
	湿度	20%~80% (但し結露なきこと)			
保管環境	温度	-20°C~60°C			
	湿度	20%~80% (但し結露なきこと)			
規格		VCCI Class-B			

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

回線への接続について

本製品は、電気通信事業法における端末機器の技術基準適合認定を取得しておりません。電気通信事業者(NTT など)の通信回線設備に接続する場合は、事前に接続許可を取ってください。また、設置する際には有資格者(工事担任者)による工事の実施等が必要となります。

日本国外でのご使用について

本装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

保守サービスについて

本装置は、弊社が提供する保守サービスを受けられることをおすすめします。保守サービスメニューにつきましては、弊社担当営業へお問い合わせください。

本説明書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

商標について

Microsoft と Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Core は米国 Intel Corporation の商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。Windows 8.1 は Microsoft® Windows® 8.1 Pro operating system の略称です。

ご注意

- (1) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、弊社担当営業へご連絡下さい。
- (2) 弊社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求に関しましては、(1)に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (3) 本装置は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、弊社製品の故障により、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

OPS コントローラ [TP2G]

取扱説明書

2017 年 2 月 4 版

日本電気株式会社
東京都港区芝 5 丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

© NEC Corporation 2014, 2015, 2017

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。



856-129953-101- D